

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------------|--------|----------------|
| 建物名称 | (仮称)福岡市西区北原・田尻3街区マンション 新築工事 | 階数 | 地上13F |
| 建設地 | 福岡県福岡市西区北原・田尻3街区 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 第一種住居地域、北原・田尻地区計画、法22条地域 | 平均居住人員 | 400人 |
| 地域区分 | 7地域 | 年間使用時間 | 8,760時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 集合住宅 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2024年12月 予定 | 評価の実施日 | 2023年5月23日 |
| 敷地面積 | 7,618 m ² | 作成者 | 黒田 美由紀 |
| 建築面積 | 2,688 m ² | 確認日 | 2023年5月24日 |
| 延床面積 | 16,299 m ² | 確認者 | 佐々木 優 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.7**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.3**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

| 3 設計上の配慮事項 | | その他 |
|---|--|---|
| <p>総合 遮音性能や汚染対策に配慮がなされ、さらに断熱等性能等級4、BEE値0.88を満たすなど、住環境の向上に配慮がなされている。 さらに夜間照明等を設置することで、防犯性にも配慮されている。 また、駐車施設や荷捌き車両等の搬入経路など、周辺環境にも配慮している。</p> | | |
| <p>Q1 室内環境 断熱等性能等級4を満たすように断熱材の計画がなされ、また開口部や床の遮音性能を上げるなど、室内空間の快適性を確保している。</p> | <p>Q2 サービス性能 共用部分において、バリアフリーに配慮した計画がなされている。 配管などの更新必要間隔の長いものを使用するなど、耐用性を確保している。</p> | <p>Q3 室外環境(敷地内) 2階にはカフェテラスを設けて、開放的な空間を内部空間とうまく連続させている。また、光害の抑制に配慮しながらも、建物外部には夜間照明等を設置し、防犯性にも配慮している</p> |
| <p>LR1 エネルギー 断熱等性能等級4を満たし、さらにBEE値0.88と一次エネルギー消費量を低く抑えるなどのエネルギー削減への配慮がなされている。</p> | <p>LR2 資源・マテリアル 節水型便器の採用により節水に配慮している。 有害物質を含まない材料の使用や、ノンフロンの断熱材を使用するなど、汚染対策にも配慮がなされている。</p> | <p>LR3 敷地外環境 周辺に、渋滞や路上駐車を発生させないために、自転車(バイク)や、自動車、荷捌き車両等の置き場を適切に確保し、車両出入口の配置や数も配慮している。</p> |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される